

# 隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第63回

彫刻家 上床利秋



横浜市のレストラン「ドルフィン」バルコニーより  
三浦岬を望む 筆者撮影

## 海を見ていた午後

作詞 荒井由実

あなたを思い出すこの店に来るたび  
坂を上って今日も一人来てしまった

そんなあなたが今も見えるテーブル越  
しに

山手のドルフィンは静かなレストラン  
晴れた午後には遠く三浦岬も見える

紙ナプキンにはインクがこじむから  
忘れないでってやっと書いた遠いあの日

ソーダ水の中を貨物船が通る

小さな泡も恋のように消えていった

あの時目の前で思い切り泣いたら  
今頃二人ここで海を見ていたはず

窓(ほま)をよせてカモメを追いかける

荒井由実の名曲には少女から大人  
になる瞬間の微妙な心の揺らぎが見  
事に表現されているものが多い。

1974年、2ndアルバムMIS  
SLIMに収められている「海を見て  
いた午後」の中の「ドルフィン」という

レストランが横浜に実在し、  
ソーダ水を注文するという  
ファンの間でのユーミンの聖  
地があることを以前から聴  
いていた私は、関東の友人に  
連れて行ってもらった。

私の学生時代はソーダ水  
とは緑色の上にはアイスク  
リームが浮かんでいたもの  
だ。実際に注文してみると、  
やはりその頃のソーダ水を  
ウェイターは運んできてく  
れた。私にはソーダ水は緑  
色が濃くて透けて貨物船な  
ど見えなかった。なのに、誰  
もそのことを口にしない。荒  
井由実の心の中には、ガラ  
スコップの水の中に映る海  
の姿をソーダ水に置き換えて  
イメージされた世界に創作  
していることをファンは心  
得ているのだろう。

私はレストランのバルコ  
ニーに出で、そこからガラ  
スコップに映る詩の世界を撮  
った。

私の訪れた「ドルフィン」  
は新築されてすでにオーナ  
ーも変わっているのだと聞  
く。だから、少女時代の荒井  
由実が同じ場所に座ってい

たわけではないようだ。

時代は様変わりしている。でも、この  
曲を聴くたびに1970年代後半の自  
分を思い出す。その時代は私が初めて出  
会った彫刻の世界でもある。

日展会員 白日会会員 日本彫刻会正会員

杉木立のアトリエで彫刻を  
共に作ってみませんか

御感想をお寄せ下さい。

<https://douzou.jp/>

上床利秋

検索

バックナンバーも読むことができます。



## レモン画材絵画教室

ご案内

- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ① 10:00～ 子供絵画教室  
② 13:30～
- 月1回 第2火曜 10:00～  
和紙ちぎり絵教室



お申し込みはTEL 0995-45-1015  
国分進行堂・レモン画材まで